

消化器外科Ⅱ（旧 第二外科）に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胆道乳頭状腫瘍における Intra ductal papillary neoplasm of bile duct(IPNB), Intracystic papillary neoplasm(ICPN)診断基準の検討

[研究機関] 北海道大学病院（病院長 寶金 清博）
病理診断科、同コンパニオン診断学研究部門、同消化器外科Ⅱ

[研究責任者] 三橋 智子（北海道大学病院病理診断科・診療教授）

[研究の目的]

胆管癌、胆嚢癌の一部に、通常とは異なる仕組みで発生する乳頭状腫瘍(IPNB, ICPN)があると考えられています。これら乳頭状腫瘍を含む胆管癌、胆嚢癌の新たな診断・治療法開発のため、腫瘍細胞が持つタンパク質を調査し臨床病理学的な特徴を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胆管癌・胆嚢癌の患者さんで、平成12年4月から平成24年4月の間に、上記診療科で手術をうけられた方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：摘出されて残った標本を用いて、上記タンパクに関する検査(免疫組織化学検査)を行います。

カルテ情報：年齢、性別、疾患名、手術名、治療内容、病理組織学的検査結果、予後情報など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院病理診断科 担当医師 三橋 智子

電話 011-706-5716